

# 短期予報解説資料 2019年9月21日15時40分発表

気象庁 予報部

## 1. 実況上の着目点

- ①大型で強い台風第17号は21日12時現在で宮古島の北の海上を最大風速65kt [TW級]の勢力で北北西進。沖縄地方では暴風域に入っている所があり、非常に強い風が吹き、猛烈なしけとなっている。台風周辺の雨雲が南西諸島にかかり、海上を中心に雷を伴って非常に激しい雨を解析。
- ②伊豆諸島の南から九州地方に前線がのびている。前線は北上しており、宮崎県の南東斜面に下層の暖湿気が流入して激しい雨が降っている所がある。

③アムール川中流の500hPa 5520~5640m付近に-24℃以下の寒気を伴ったトラフが東南東進。対応する低気圧が沿海州付近にあって、北東進。

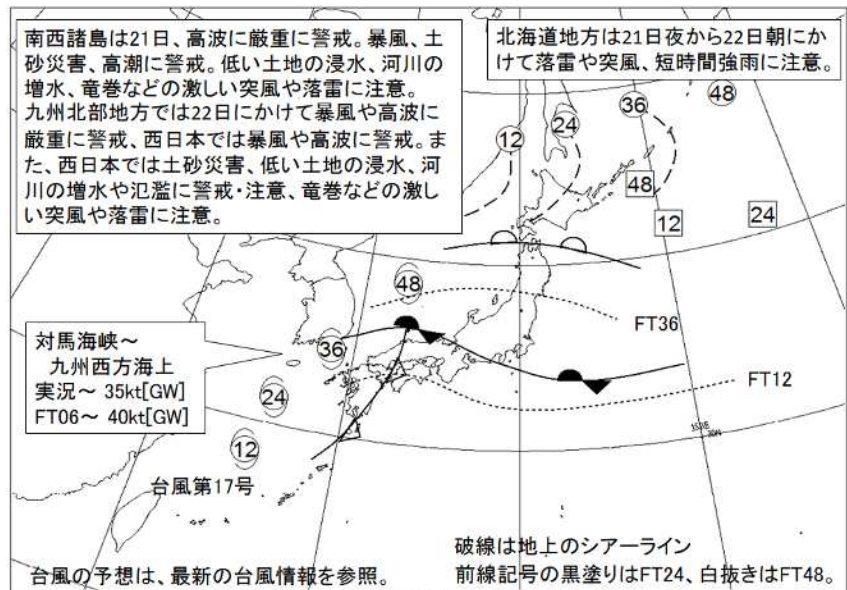
## 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 台風第17号は東シナ海を北上、沖縄地方と奄美地方では21日夕方にかけて猛烈なしけが続く。また、21日夜遅くにかけて、台風周辺の発達した雨雲が南西諸島にかかり、雷を伴って激しい雨が降る所がある。さらに、沖縄地方では22日未明にかけて潮位が高くなる所がある。南西諸島では高波に厳重に警戒。暴風や土砂災害、高潮に警戒。低い土地の浸水、河川の増水に注意。
- ② 22日朝には、台風は九州の西の海上にあって北東進し、22日夜には最大風速60kt [SW級]で九州北部地方にかなり接近する。台風の接近に伴って、九州北部地方では猛烈な風が吹いて猛烈なしけとなり、九州南部や四国地方でも非常に強い風が吹いて大しけとなる。また、西日本は台風本体や台風周辺の雨雲がかかるほか、1項②の前線が北上して西日本太平洋側に下層の暖湿気が流入するため、雷を伴って非常に激しい雨となる所がある。西日本では暴風や高波に警戒、特に九州北部地方では厳重な警戒が必要。西日本では土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒または注意、竜巻などの激しい突風や落雷に注意。台風は23日には日本海に達し、温帯低気圧の性質を帯びながら北東進。
- ③ 22日未明から昼過ぎにかけて1項③の低気圧からのびる地上のシアーラインが北海道地方を通過。シアーラインの東側には850hPa  $\theta e309K$ 以上の相対的な暖湿気が流入し、北海道地方では21日夜から22日朝にかけて大気の状態が不安定となる。落雷や突風、短時間強雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本。量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠] ① 大雨ポテンシャル(18時からの24時間) : 九州南部400、九州北部300、四国250、東海・近畿・奄美・沖縄150、中国120mm。② 波浪(明日まで) : 沖縄10、九州北部9、九州南部・奄美8、四国6、近畿5、東海・伊豆諸島・中国4m。③ 高潮(明日まで) : 22日未明にかけて沖縄地方で警報基準を超過するおそれ。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第17号に関する情報(総合情報)」を17時頃発表予定。



主要じょう乱解説図